

令和元年6月20日 00435号

編集者:佐藤寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】北見柏陽高校弓道部が全道優勝しました！



6月12日(水)～14日(金)まで北見市武道館で開催された「第65回北海道高等学校弓道競技選手権大会兼第64回全国高等学校弓道選手権大会北海道予選会」において北見柏陽高校弓道部男子が団体戦で優勝し全国大会出場を決めました。

第24回北見市総合武道祭が盛大に開催されました！

6月15日(土)に「第24



回北見市総合武道祭並びに北見市武道館祭り」が開催され、多くの市民が武道の形演武や競技試合を観戦し楽しみました。次週号より詳しく紹介します。

武道振興協会事務局の花シリーズ 「サツキ」



北見市の緑のセンターで5月に開催された「さつき展」に於いて求めた可愛いサツキの鉢をいただきました。実生で育てた小さな苗にピンクの花を沢山つけています。実生(みしょう)とは、挿し木や接ぎ木ではなく種から育てたものを云うようですが、こんな小さな苗木にも立派に花が咲くことを知り驚きです。(佐藤)

連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿『剣法秘訣』より)

剣術修行心得(12回目) 故に向うを打つには意の所を打つべし、意とは即ち起り頭にて、「どかどか」と起る所なり、然れども其の「どかどか」の所にて、此の方より打ち突きを出せば、必ず相打ちになるものなり、依って「どか」という所にて打ち突きを出せば、勝利疑いなるべし、よくよく工夫あるべし。「どか」とは向うの起らんとする頭、打たんの思う頭にて、向うの発意の所なり。相手の背高く、寸延びたるものには、打ち突きを出しても、向う少し仰向きて反り身になれば、此の方の打ち突き外ずされて当たらぬものなり、斯かる節には、当流に長短の短ということあり、例えば双方の鞆同寸たりとも、相手の背高く寸延びたる者との試合には、此の方の切先は五六寸も短かき積りにて、打ち突きを出せば、過ちなかるべし。之を延びの短ともいう、よくよく思慮あるべし。他流試合に帯のかねという教えあり、甚だ面白き意味あり、例えば双方とも立合いの場に至り、目と目を見合わせ居るうちに、此の方未熟にては、我が為さんとする所、必ず目に顯るものゆえ、向う明らかならば悟らることあり、左様の・・・つづく